

FREE

# 刺繍パッチ ワッペン デザインの ルールと コツ



パッチ・ワッペン製作WEB刺繍店 **sacom works**

オリジナル刺繍パッチは、意外と安く作れます！

【単色ロゴ系刺繍 直径8cm円形】  
 ・原稿作成: Adobe illustrator  
 【参考価格】10枚単価(※1)  
 ●データ作成(※2) ¥3,000-  
 ●縫製単価 ¥1,500/枚 + 送料等(※3)  
 ※データ作成事例はP10へ

【キャラクター系直径9cm(変形形)】  
 ・原稿作成: Clip Studio paint・刺繍用フォント  
 ・実演彩生地(マルチカム) ※4  
 【参考価格】10枚単価  
 ●データ作成: ¥6,000-  
 ●縫製単価: ¥2,500/枚 + 送料等

【QRコード刺繍パッチ幅10cm】  
 ・手書き原稿、刺繍用フォントを使用  
 ・QRコードの情報量により大きさ(最小サイズ)の規制があります。  
 【参考価格】10枚  
 ●データ作成 ¥4,000-  
 ●縫製単価 ¥1,500/枚 + 送料等

HIGH QUALITY EMBROIDERY PATCHES PRODUCTION  
**sacom works**  
<http://sacomworks.com/>

その他作例

より小さいサイズ  
 シンプルなデザインは  
 さらに単価下がります  
 詳しくはお見積りを

- ※1: 30枚, 100枚で単価が変動し、枚数が多くなるほど単価が安くなります。  
 ※2: 刺繍機を動かすためのデータ及びテスト縫いの費用。デザイン作業を含みません。  
 ※3: 送料 ¥600 (サンプル郵送込み)、ベルクロ取り付けなどは別途お見積りとなります。  
 ※4: 実演彩生地は入荷状況により対応できないことがあります。

【案内役】 sacom works 著「ラッキーキャッツアーフィッシングスクール」より



白黒系LOVEサブゲーム 大食いスナイパーアイドル 復足のデザイナー志望 おっとりバーサーカー

デザインや受付に関し、ルールがあります。

【実寸でデザインする】

刺繍ワッペンとは糸と生地で作る再現する製品です。作れる大きさに限界があるため、**最初に大きさを決めて、実寸でデザインするようにします。**また、大きさは価格に反映されます。詳細は次ページ以降で。

【線の太さに注意する】

実寸でデザインすると同時に、刺繍できる線の太さに注意する必要があります。**刺繍する線は基本的に1mm以上(最低0.7mm)の太さに設定します。**また、外周に3mm幅の縁取りが必要で、詳細は次ページで。

【受付状況を確認する】

混雑状況により、受付できる最低枚数が増えたり(基本10枚以上)、新規受付を休止することがあります。詳しくはサイト(左記QRコードパッチから読み込み可)をご確認ください。

【デザインはお客様で】

sacom worksは刺繍パッチ製作の専門家ですが、デザインを製作する専門家ではありません。デザイン製作はお客様側でお願いいたします(巻末をご参照ください)。

【受付できない案件】

- ・受付状況の枚数に見えない数量及び単品
- ・いわゆる「パクリ」や二次創作作品  
(公式サイト等で二次創作が認められていることを確認できる作品を除く)
- ・反社会的勢力からの注文
- ・公序良俗に反する図案、過度に卑猥な図案
- ・途中で大幅な図案変更(単品扱いと同等)
- ・部隊用パッチの一般販売  
(部隊側から許可が得られているものを除く)
- ・売掛払い  
(翌月払いなど、官公庁除く)



水着くらいなら  
 全然OKです

# 刺繍パッチ・ワッペン の構成

## 【フチ (3mm幅)】

ほつれ止めのため、**外周に3mm幅の縁取りが必要**です。  
sacom worksでは、美しさと耐久性を考え、独自の加工方法「二重ツイルヒートカット」を標準としています。  
加工方法の詳細はP12をご覧ください。

## 【線を刺繍する箇所】

糸と生地を組み合わせて再現する刺繍製品では、模様ズレを防ぎつつ、なめらかな線を再現する場合、**線の太さを1.0mm以上 (最低0.7mm)**にする必要があります。

- 1mm幅の線 (基本的にこの太さ以上)
- エンド部分 (徐々に細くなる) は可
- 0.7mm最も細い線、極力避ける。

模様ズレがない部分はまだ細い線を使うことも可能ですが、判断が難しいため基本的に1.0mmで描画してください。

## 【線を刺繍しない「リアル系刺繍 (立体刺繍)」箇所】

### 線画

### 実刺繍



線を刺繍せずに単色の糸の縫い方向の変化で刺繍を再現する場合、**0.3mm以下**の細い線で模様を境目を描画してください。

## 構成



## 【生地部分 (面を刺繍しない箇所)】

生地部分を増やすとコストダウンできます。  
また、文字などは生地に刺繍すると模様が崩れにくいです。**生地は色数が少ないので、シンプルな色にまとめましょう。**また、迷彩生地も一部あります。



## 【面を刺繍する箇所】

刺繍糸は線、面ともに約600色ありますが、刺繍に刺繍を重ねると模様がぼやけます。  
また、**グラデーションや影の再現は綺麗に再現できないので、できるだけ避けましょう。**

## 【文字 (フォント)】

いただいた図案の書体をトレース (なぞる) するか、刺繍用フォントを代用して製作します。  
文字も線の太さと同じく、**1.0mm (最低0.7mm) の太さが必要**です。



## 【刺繍用フォント】

刺繍用フォントを使うと、データ作成料金が少し安くなります。  
右の画像は特に人気があり、刺繍も綺麗な書体です。  
手書き原稿の場合は、書体 (フォント) の名称も併記をお願いします。

- 01 ABCDEFG abcdefg
  - 06 ABCDEFG abcdefg
  - 07 ABCDEFG abcdefg
  - 34 ABCDEFG abcdefg
- かい書体

## 【裏面処理】

使用方法によって裏面処理を選べます。縫い付けやベルクロ (マジックテープ)、熱接着シート、クリップ+安全ピンなどがあります。  
詳細はP12をご覧ください。



糸と生地で作る刺繍製品ではいろいろ制限があるんだって！

細すぎる線は刺繍できないんですね。気をつけなきゃ



# 手書きの場合・デジタル作画の下書き

## 【用意するもの】

鉛筆またはシャープペン、消しゴム、定規、コピー用紙数枚、スマホ(あればスキャナー)  
1mm幅のサインペンまたはイラスト用ミリペン(1mm)、修正液、色鉛筆など着色するもの  
必要に応じて0.3mmのペン、コンパス、トレースボード(窓ガラスで代用可能)

## 【1】大きさを決める

最初に決めるべきはパッチの大きさです。刺繍できるか否かの判断や、お見積りに影響します。

作りたい大きさに切り抜いたコピー用紙などを、取り付ける予定の衣類などに貼ってみましょう。

P15のテンプレートもご利用ください。



## 【2】イメージを書き出す

絵柄、記載したい文字を、コピー用紙にざっくりと書き出します。

※面倒くさからず、何度も書き出すのが完成への近道です。



## デザインで悩んだら…巻末へ!

## 【3】下書きする

作りたい大きさから6mm引いた大きさの円形や四角形を描き、その中に鉛筆などで書き出したイメージを書き込みます。

ベースとなる四角形や円形を描くときは、定規やコンパスを活用しましょう。

※鉛筆画での入稿は不可です。



※作りたい大きさ：60mm幅  
(54mmの枠内に下書き)

## 【4】ペンでなぞる(ペン入れ)

書き込んだイラストや文字を1mmのペンでなぞります。

1mmのペンでなぞって読めない文字や潰れてしまう模様は、刺繍できないと判断できます。ペンでなぞる作業は、細い線にならないよう適度に力を入れてなぞってください。

筆描きも可能ですが、かすれた部分や再現できない部分があります



## 【効率的なペン入れの方法】

窓ガラスに張り付けて太陽光ですかしたり、トレースボードを活用するなどして別の用紙に書き写すと、繰り返し下書きを活用できます。はみ出した線などは修正液を使って修正すると良いでしょう。



字：黄色

74：黄色

※ピック着色の例。色鉛筆も可

## 【6】着色

(5)で描いた線画をコピーしたものに、色鉛筆などを使って着色します。

また、書体の指定や色指定などがある場合、空いたスペースに必要事項を記載してください。

## 【7】提出データを作る

描いた原稿をスキャナーでスキャンするか、スマホのカメラでできるだけ正面から撮影したものが提出原稿となります。

提出いただく画像も、線画とカラー原稿の2枚があると助かります。

データ形式はJPEG(スマホカメラの基本データ形式)を推奨しています。

郵送の場合は、必ずコピーを送ってください！  
原稿は返却できません。

# Clip Studio Paintを使う場合

【※】Clip Studio paint (以下「クリスタ」)は漫画やイラスト製作に用いられるソフトで、sacom worksの漫画製作事業でも使用しています。ここでは、クリスタを使用したワッペン原稿作成のコツを紹介していますが、基本的にクリスタを使える人向け解説であり、サポートは行っていませんのでご了承ください。

## 【1】手書きの要領で下書き

いきなりクリスタで描いてもよいですが、P6の要領で簡単な下書きを作成し、刺繍できる線の太さや文字の大きさを把握しておきましょう。

## 【2】新規作成

「任意の大きさ(A4など)」「350dpi」「カラー」「単位(mm)」で新規作成します。



単位: mm

解像度: 350dpi  
基本表紙色: カラー

## 【3】トンボ枠の設定

「表示」→「トンボ・基本枠の設定」でパッチ図案の大きさの枠線を作ります。「トンボ・基本枠」にチェックを入れ、予定しているパッチの幅と高さをそれぞれ入力します。また、「裁ち落とし幅」は0mmに設定します。

作りたい大きさの高さと幅を入力  
裁ち落とし幅は0mm

## 【4】ベクターで線画を描く

「新規レイヤー」→「ベクターレイヤー」を設定し、トンボ枠内に「ベタ塗りペン」を設定し、トンボ枠内に「ベタ塗りペン」で1mm以上の太さの線画を描きます。ブラシサイズがPt(ポイント)になっている場合は「1mm≒14Pt」で換算します。線の強弱を付けたい場合もベタ塗りペンで書いてから、太くなる部分を書き足すようにします。フチの太さ(3mm)は42Ptになり、トンボ枠線に収まるようにします。(なお、四角形などの場合、角をわずかに丸めるようにします。)なお、ベクターレイヤーは線を描くことに特化したレイヤーで、線を修正したり、太さや色の変更ができます。



「ベタ塗りペン」で書く。線に強弱を付けたい場合は1mmのベタ塗りペンで書いたあと、太く塗り足す。

フチ: 3mm (42Pt)  
トンボ枠に収まるように描く。真円や正方形は「shift」を押しながら (Windowsの場合)

線画: 1mm(14Pt)以上



「レイヤーカラー」で色を変更する。あとで色調整がしやすい。

各レイヤーを塗る色は「黒」

作例のベース生地は「藍色」

「ラスターレイヤー」で色ごとにレイヤーを分ける。1つのレイヤーに同色も塗らない。

## 【5】レイヤーを分けて黒で着色する

面の着色は、色ごとに「新規ラスターレイヤー」を作成して行います。パケツツールなどで「黒」で必要な部分を塗りつぶし、レイヤーカラーで色を変更・調整します。

なお、ベクターレイヤーでは塗りつぶしはできません。背景色(生地色)はP5をご確認ください。

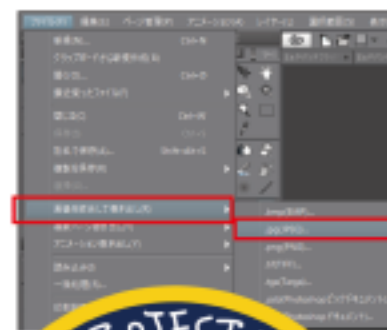
## 【6】書き出し

「ファイル」→「画像を統合して書き出し」します。「JPEG」「350dpi」「ページ全体」「RGB」で書き出します。(なお、カラープロファイルをCMYKで作成している場合は、「CMYK」で書き出ししてください。)

## 【※】円形に配置する文字

クリスタは主に漫画やイラスト作成を行うためのソフトなので、円形などに文字を配置するのが苦手です。

ベタ塗りペンで仮の文字を描き入れて、図案の枠外に使用したいフォントで文字を記載してください。どうしても文字を円形に配置したい場合は、文字レイヤーを「ラスタライズ」→「選択範囲」→「拡大・縮小・回転」で、1文字ごとに整列させます。



# Adobe illustratorを使う場合

【※】Adobe illustrator (以下「イラレ」)はロゴデザインや印刷物に用いられるソフトで、このパンフレットもイラレで作成しています。ここでは、イラレを使用したワッペン原稿作成のコツを紹介いたします。イラレを使える人向け情報であり、サポートは行っていませんのでご了承ください。(中の人もあまり詳しくないので…)

## 【1】手書きの要領で下書き

クリスタと同様に、P6の要領でイメージの書き出し、簡単な下書きを作成し、あらかじめ刺繍できる線の太さや文字の大きさを把握します。

## 【2】新規作成

A4サイズなど任意の大きさと新規作成します。カラーモードは「CMYK」で設定しておくのが無難です(印刷物にも対応)。

## 【3】ガイドの設定

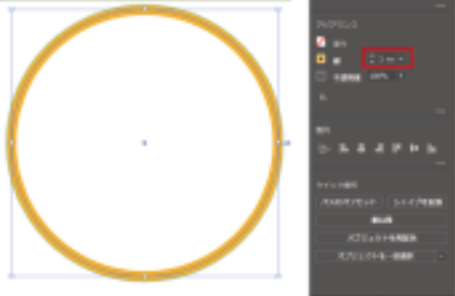
刺繍パッチのデザインの基本は、**大きさを決め、実寸でデザインすること**にあります。「ガイド」を作り、中に図案を収めることで、実寸で作画できます。(作例は円形80mmの場合)「長方形ツール」「楕円形ツール」を使い、寸法入力で線が設定されていないオブジェクトを作成。「ガイドを作成」で水色のガイドに変換します。ガイドは整列ツールで中央に寄せ、動かないようレイヤーパレットでロックします。



デザインデータを刺繍パッチのみに使う場合は、印刷に必要なトリムマーク(トンボ)を設定する必要はありません。

## 【4】パッチのフチの設定

「長方形ツール」「楕円形ツール」などを活用し、パッチの切り出し処理に必要な3mm幅のフチを設定します。円形、四角形などの形の場合、「作りたいサイズ-3mm」を入力することで、ちょうどよい大きさに収まります(作例は80mm-3mm=77mm)。なお、角型のパッチのフチは、角を2mm以上丸めるようにしてください。



## 【5】図形の描画

各ツールを利用し模様を作ります。各所の線の太さ(基本1mm、最低0.7mm)を確保できるように注意してください。グラデーションはできるだけ使わないようにしてください。刺繍糸で再現するため、模様が荒くなります。



## 【6】文字の描画

文字の描画も細い箇所が1mm(最低0.7mm)を確保できるようにしてください。円形の文字の配置は「パス上文字ツール」を活用すると便利です。

## 【7】アウトライン化

出来上がったデータを保存したら「別名で保存」し、文字のアウトライン化を行います。アウトライン化されていない場合、他のPCでデータを開いた時に「文字化け」することがあります。刺繍パッチに関しては、JPEGで出力した原稿データを提出される場合は、その限りではありません。



## 【参考】完成したデータ

直径80mmで作成した参考データ(実寸)です。作りながら図案の大きさを調整したり、文字などを追加して仕上げました。



## 各種仕上げの仕様について



### 【ヒートカット】※標準 3mm幅

sacom worksの刺繍・パッチのフチの仕上げの基本はヒートカットです。色数が多く複雑な形状も切り抜ける、ロック加工より丈夫などの利点があります。独自の「二重ツイルヒートカット」の開発により、美しい仕上がりが出来るようになりました。



### 【ロック加工(メロウエッジ)】 約3mm幅

専用のロックミシンと糸を使って処理する方法です。メロウエッジ(メローエッジ)とも呼ばれ、ミリタリー・パッチに多用されますが、複雑な形状の処理には向かず、色が少ない、フカフカした糸を使うので傷みが早いなどの弱点があります。sacom worksにも機材がありますが、退役予定です。



### 【ハンドカット】 3mm幅

ハサミでフチのギリギリを切る方法です。見た目はヒートカットのようで、ヒートカットよりやや耐久性が高いですが、手間がかかる加工なので割増しとなります。また、複雑な形には向かず、切り口にホコリが溜りやすいです。



### 【織り込み】

縁を折って、別のミシンでベルクロ等を縫い付ける方法です。四角形のみ対応可能。割増しとなります。



### 【ベルクロ(マジックテープ)】

ベルクロのオスを縫い付けることで取り外し可能なパッチにできます。自衛隊やサバイバルゲーム業界などでは標準的な仕様となっています。取り扱いについてP14をご覧ください。



### 【熱接着シート】

アイロンを使って圧着することで針やミシンを使わずに取り付けができますが、失敗したときのリスクなど、以外と難しい面もあります。詳細は次のページをご覧ください。



### 【クリップ/安全ピン取り付け】

スポーツの審判やイベントスタッフ向けパッチなどでご依頼いただくことがあります。クリップと安全ピンがセットになったパーツを、接着剤と強力両面テープを併用して取り付けます。



### 【縫い付け】

手縫いまたはミシンで縫い付けする方法です。縫い付けが難しい場合、ご近所のお直し屋さんなどもご活用ください。

## 熱接着シートの取り付け方

### ③位置を決めて仮止め



### ①衣類のタグを確認

【熱接着できない表示】



アイロン仕上げ禁止

【熱接着できない素材】

綿手のナイロン生地

サテン(スカジャンの素材)

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

※濡れたりヨレたりします。

【免責事項】アイロン熱接着は一発勝負です！熱接着ワッペンを剥がすと、衣類等にノリ(接着剤)が残ります。失敗による衣類の汚損や、アイロン、マチ針の使用などによる怪我の補償は致しかねます。

### ④アイロンと 充て布を準備 やけどに注意!

アイロンは スチームなし 中温設定で



【当て布】  
・ハンカチ  
・バンダナ  
・クッキングシート

アイロン台は足を置く

## 刺繍パッチの取り扱いについて

ベルクロモデルは外して  
手洗いで長持ちします～!

### 【洗濯について】

中性洗剤を使って洗濯機で洗っても問題ありませんが、衣類を洗濯ネットに入れたり、ベルクロモデルの場合は取り外して中性洗剤を使い手洗いすると、より長持ちします。

### 【保管について】

刺繍パッチはできるだけ湿度が安定する、直射日光の当たらない場所に保管してください。

なお、ベルクロモデルは重ねないでください。刺繍パッチの大敵はベルクロ(オス)のように引っ掛かるものや摩擦です。重ねて管理する場合、表裏を交互に重ねるようにしてください。



### 【1】お見積もり

いただいた図案をもとに刺繍できるか否かを確認したうえで、料金を算出します。お見積もりは無料で行っています。

刺繍ができないと判断した図案はお断りする事がありますが、せっかく作ったデザインをお断りすることも心苦しいです。デザインの前にこのパンフレットを熟読お願いいたします。

### 【2】刺繍データ作成

刺繍ソフトを利用して刺繍データを作成します。専用のソフトで原画を「トレース(なぞる)」してデータを作ります。糸の緊張で発生する変形や模様の変ズレ、糸の流れを考えながらデータを作り込むため、あえて手間のかかるトレースにこだわって、刺繍データ等を製作しています。



### 【3】テスト縫い→修正

出来上がったデータで試し縫いを行います。試し縫いで模様の変ズレを点検、修正し、再度縫ってサンプルが完成します。

### 【4】サンプル納品・枚数の確定・ご請求

サンプルをお客様に郵送し、了解いただければ枚数を確定、ご請求書を発送します。料金のお支払い後に製品を納品させていただきます。売掛け(P3)は行っていません。

### 【5】量産・納品

料金を確認したら量産・検品のうえ納品します。込み具合により納期が変動します。パッチどうしの摩擦による痛みを防ぐため、基本的に個別包装しています。

### 【コラム】模様はまんべんなく配置しよう

糸と生地で再現する刺繍製品作りは変形(模様の変ズレやひずみ)との戦いです。模様の変ズレや変形を防ぐ対策はしますが限界があります。最大の変形対策は「模様をまんべんなく配置したデザインにすること」です。

偏りのある図案はひずみが大きくなります。刺繍パッチで最も難しい図案は日本国旗「日の丸(日章旗)」です。正円の面はひずみやすく、ひずみに伴い、周囲にシワが入るためです。sacom worksではひずみを軽減した日の丸パッチを開発しましたが、開発には数年を要しました。



偏りが少ない



偏りが大きい

## 刺繍パッチデザイン 下書き用テンプレート



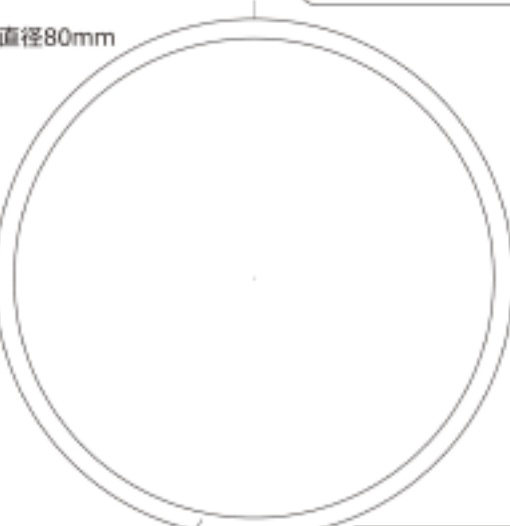
90mm×50mm  
ネームタグサイズ

フチ3mm幅  
(二重線の内側に描く)



フチ3mm幅  
(二重線の内側に描く)

90mm×25mm  
ネームテープサイズ



直径80mm

フチ3mm幅  
(濃い二重線の内側に描く)

### 【背景基本色参考】



### 【注意】線の太さを確保すること

- 1mm幅の線(基本的にこの太さ以上)
- エンド部分(徐々に細くなる)
- 0.7mm(最も細い場所。極力避ける)



## デザインが決まらないときは

sacom worksは刺繍パッチ製作の専門家ですが、デザインの専門家ではありません。

入稿いただいた圖案について、刺繍化するうえでの修正をご提案することは可能ですが、**新たにデザインを起こしたり、描き替える作業は行っていません。**

得意な人に頼む、デザイン製作会社の活用のほか、「ココナラ」などのサイトを通して個人のデザイナーさんに委託することも可能となっています。

デザインを委託されるさいは、デザイナー様にも本書を熟読いただけますようお願いいたします。



### 【sacom worksの中の人】

刺繍エンジニア。釣師、サバイバルゲーマー、漫画家、ルアー製作者など活動の幅は多岐にわたる。元土木エンジニア、釣り船船長（フィッシングガイド）。釣り船の副業として始めた刺繍パッチ作りが、WEB刺繍店sacom works開店につながる。釣りの問題解決に関する取り組みを行い、釣りのマナーアップに関する情報発信や釣り教室、勉強会、地元河川の浄化活動などを主催する。刺繍製品から生まれたキャラクターをベースにした漫画「ラッキーキャッツルアーフィッシングスクール」及び沖縄ルアー釣り解説書「図解と写真でわかる沖縄のルアーフィッシング陸っぱり編」を執筆。釣りの問題解決に関するアニメ製作を目指し、刺繍製品製作の傍ら、連載の獲得に向けた漫画原稿の執筆に取り組んでいる。



### 【お願いとご注意】

- ・P3及び各ページの諸条件、サイトの受付状況をご確認のうえご依頼お願いいたします。
- ・掲載しているソフトの操作方法は、一定程度操作知識を有する方向けの解説です。操作などに関するサポートは行っていませんので、ご了承ください。
- ・作画や製作にあたって生じた損害等については一切責任を負いません。

# sacom works

〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋 1 丁目 27-11-4D  
TEL098-851-7747 email:shimacomi@gmail.com



<https://sacomworks.com/>

営業時間10:00~17:00 休日:土日祝祭日、旧盆、聖誕の日(6/23)その他業務で不在の日があります。